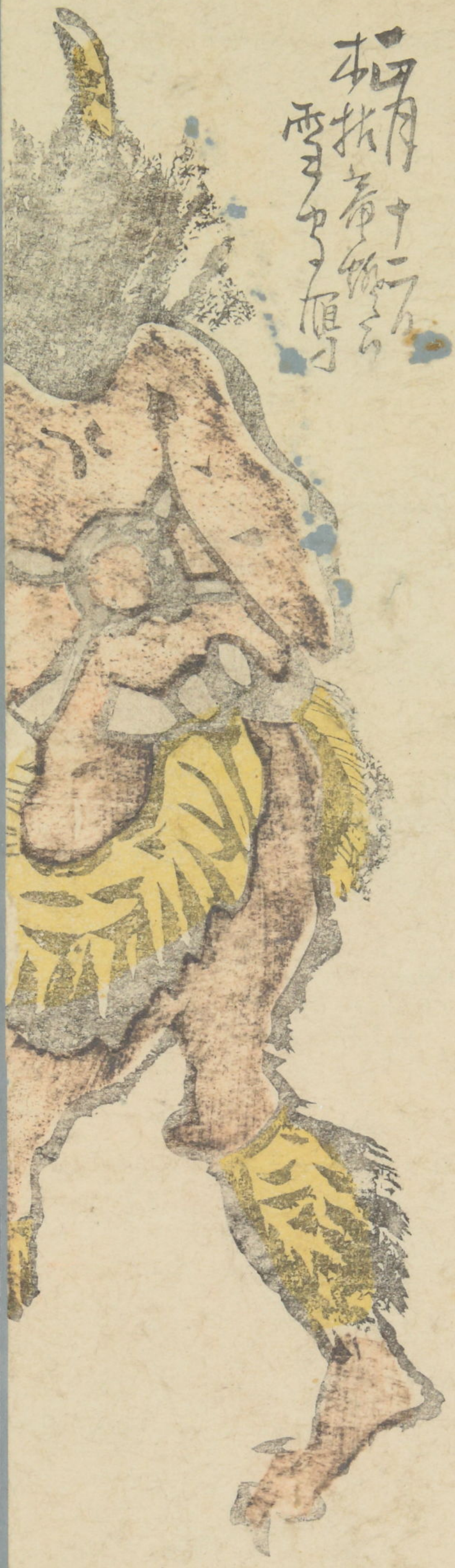

正月十二日
松拍斎錦江
雪中庵写

梅磨まず尻乃つめたし梅はなもし　雀吟　一二輪咲き和尚乃梅乃花　針十　白されて人にゆかしき梅のさゝ郎
子ども見物をかけてさくらの樹乃花　五瀬　帯ときめすりしめた出ちらり白ふめ乃花氷女とき　このむり乃まどとのえんに梅乃
はれけ哉　ききら乃手かゝまも出あり梅乃花　行脚甫論　あゝら乃思ほる花なり梅乃花　看我　行程や東街道乃梅乃花　文年
字めうさ月　わつのあとのうちもまぐのき　桁打き　梅乃すみえし一ゆく　むかし　翁たひ　並高